

# 南島原市ニュース

令和元年9月30日

## タイトル 児童が五穀豊穡を祈願し浮立を披露

南島原市北有馬町の郷土芸能の一つ『浮立（ふりゅう）』は、島原・天草一揆の後、佐賀からの移住者が伝えたとされており、3～13歳の氏子（浮立子）が独特の衣装をつけて、笛や謡に合わせて大太鼓をたたいていました。最近では、小学生が参加し、秋の収穫前に行われる春日神社大祭で、五穀豊穡の祈願を含め披露しています。

今年も、北有馬町今福名（いまぶくみょう）が祭りのお供前に当たり、有馬小学校の児童24名が伝統芸能を力強く堂々と披露します。

北有馬町では昭和55年に郷土芸能保存会を結成し、浮立・先踊りなどの保存・継承に努め、文化的発展と住民の融和を図っています。

日 時：10月7日（月）・8日（火）

場 所：春日神社等（南島原市北有馬町春日）

備 考：時間等の詳細については、別添を参照

※取材のタイミングとしては、10月7日（月）午前9時からの神社での披露が雰囲気良く撮影できます。

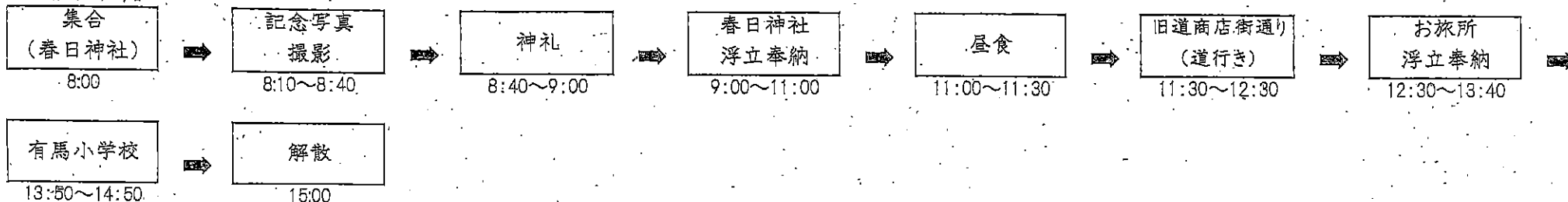


担当部署	教育委員会 生涯学習課 教育振興班（北有馬ビレイ内）	担当者	下田 陽子
直通	0957-73-6754	E mail	kyouikushinkou@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは ☎		検索ワード	
担当者 連絡先			

# 令和元年度 今福名 浮立発表日程表

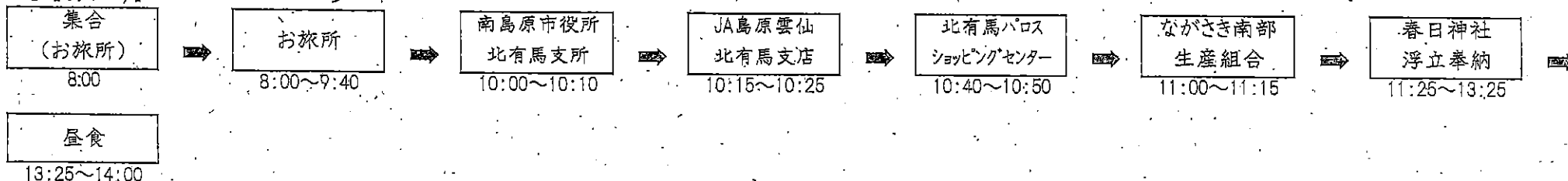
10月7日(月)

①【お下り】

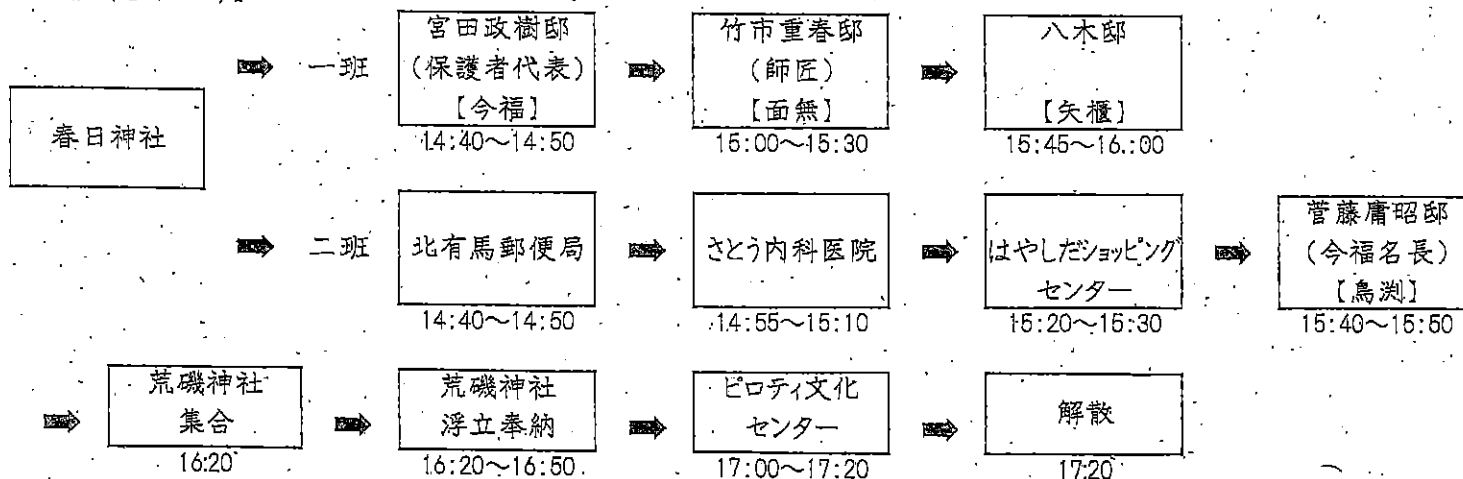


10月8日(火)

②【お上り】



③【かさやぶり】



※時間は多少前後する場合がございます。ご了承くださいませ。